



ちば市老連だより



仁右衛門島より房総の海をのぞむ

目 次

平成6年度事業計画	2
平成6年度一般会計収入・支出予算書、最近10年のクラブ数会員数の趨勢	3
平成6年度行事予定表	4
「千葉市老人クラブ連合会の法人化」に関する上申書	5、6
第23回全国老人クラブ大会	7
地区別研修会の概要	8、9
平成6年度上半期実施行事のスナップ	10、11
婦人活動推進部の研修旅行記(良寛さまのふる里と阿賀川ライン舟下り)	12
平成6年度市老連役員表	13
お知らせと編集後記	14

平成6年度事業計画

市老連は、千葉市における老人クラブの健全なる発展と高齢者福祉の増進に寄与する目的をもって、去る昭和37年設立され、その後、時代の進展に合わせて自らの福祉を高めるとともに地域福祉の向上に精進してきました。

その間、当市老連は発足と同時に千葉県老人クラブ連合会に入会し、県老連傘下最大の市老連として、はたまた県都の市老連としての自負のもと、終始全面的に協力して県老連の運営活動の一翼を担ってきたその実績は後世に残るものと確信いたします。

この間、当市の急速な発展に伴い、去る平成4年、政令指定都市に移行したため、当会が県老連の組織より分離独立することになり、その時期について千葉県、千葉市、千葉県老連及び千葉市老連の四者間で2ヶ年にわたり検討してきました。その結果、独立時期を平成6年度に目標をおき、さきに、提出した市老連よりの県老連宛の退会届については、去る3月18日開催の四者代表者会議において確認され、県老連より承認書を受領いたしました。

従って、本年度事業については上述の背景のもとに慎重に検討して参りましたが、現在の事務体制並びに財源的制約から、ほぼ前年並の事業計画が妥当と判断しました。しかし、当市の区制施行に伴い設立された区老連の育成強化並びにその運営活動については、更に財政面も考慮して検討を加え万全を期する所存であります。

よって、本年度の重点目標は下記の通り、ほぼ前年度を踏襲することとしましたが、特に本会の法人化については、去る平成3年度定期総会の決議事項でもあり、本年度は市ご当局のご指導と前年度結成された法人設立委員会の積極的活動によってその実現を期したいと思います。

重点目標

1. 市老連の法人化推進と事務局体制の整備強化
1. 区老連体制の検討と連絡調整の具体化
1. 趣味等のサークル活動を通じ、未加入者の加入促進
1. 女性リーダーの育成並びに登用によるクラブの活性化
1. 高齢者の社会参加を広げ、生きがいと健康づくりの推進

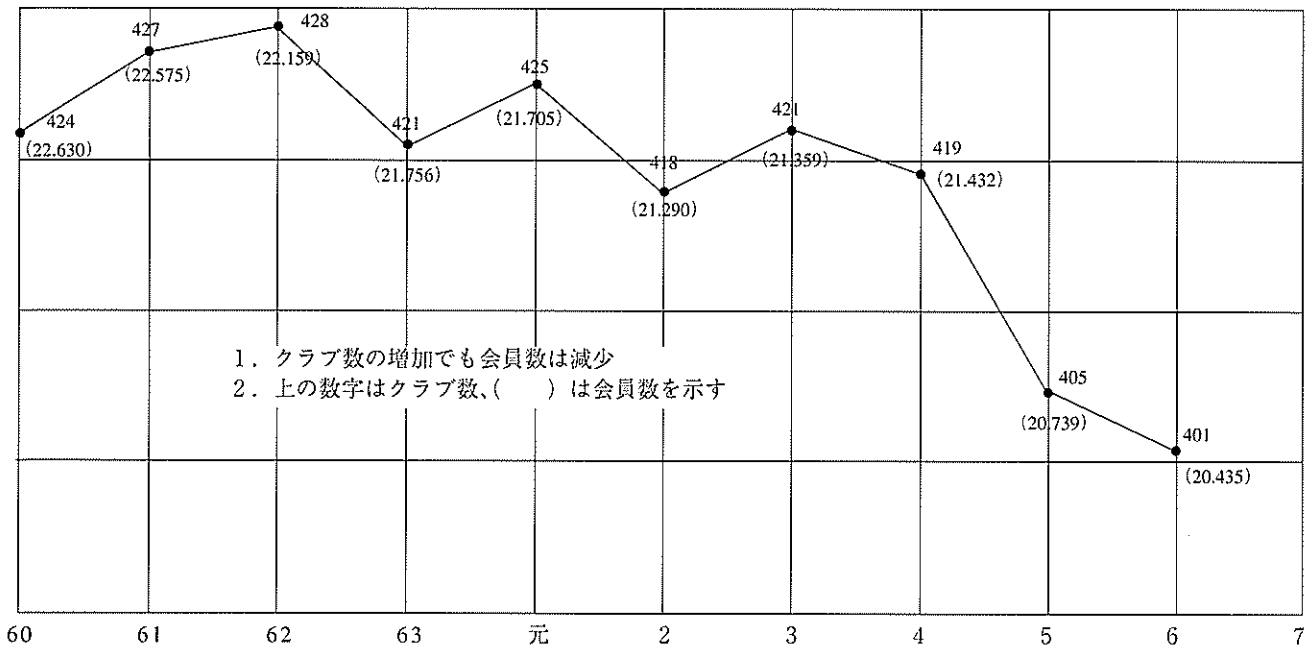
平成6年度一般会計収入・支出予算書

収入合計 15,048,000円
 支出合計 15,048,000円
 差引残高 0円

(単位 千円)

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
会費	3,097	総務費	9,087
補助金	8,885	事業費	5,432
事業収入	506	助成費	0
寄付金	120	負担金	405
繰越金	1,856	慶弔費	60
繰り入れ金	513	予備費	64
預かり金	11		
雑収入	60		
収入合計	15,048	支出合計	15,048

最近10年のクラブ数・会員数の趨勢



平成6年度行事予定表

月別	行 事	関 連 行 事
4	20日 理事会	13日 市老連会計監査
5	18日 理事会、歓送迎会 25日 総会 31日 新任会長研修会	16日 市老連法人設立委員会
6	2日 特選演芸会 7日 民踊講習会 9日～7月2日 地区別研修会 13日～17日 区老連囲碁、将棋大会	1日 全老連中央セミナー 22日～23日 関東ブロックリーダー研修会
7	5日 ユニークダンス 6日～8日 婦人部研修旅行 12日 理事会 19日 G.B大会	4日 県老連新旧役員歓送迎会
8	4日～9日 作品展示会 11日 理事会 18日 囲碁、将棋大会	29日 都市緑化ちばフェア1年前フェステイバル 31日 市老連法人設立委員会
9	2日 ユニークダンス 8日 民踊講習会 12日 理事会 14日 指導者研修会 20日 社会奉仕の日 27日 ニューススポーツ大会	7日 県外研修会（県老連） 21日～22日 全老連大会（和歌山県）
10	7日 理事会 15日 市老連運動会	22日～25日 第7回全国健康福祉祭（香川県）
11	1日 市老連輪投大会 4日 理事会 7日～9日 市老連会長県外研修旅行 24日 市老連芸能大会	8日～9日 関東甲信越静ブロック老人クラブ連合協議会 16日 心豊かな長寿社会を考える国民の集いー全国大会 〃 第34回県老連老人クラブ大会
12	2日 理事会 12日～18日 年末慰問	
1	10日 理事会 18日 新年会	
2	2日～6日 ふれあいの店 8日 補助金説明会 20日～24日 区老連研修会	
3	7日 理事会	

千葉市老連の法人化について

千葉市老連の法人化については松井市長に対し、既に、「上申書」は提出済ですが、その後、諸般の情勢の変化を勘案し、本年度、更に、下記「上申書」を再提出し法人化の具体化を強く要望しました。

平成6年7月1日

「千葉市老人クラブ連合会の法人化」に関する上申書

千葉市長 松 井 旭 様

千葉市老人クラブ連合会

会長 波 多 野 透

わが国の高齢化は、平均寿命の伸びや出生率の低下に伴い急速に進行しており、21世紀には、国民のほぼ4人に1人が65歳以上の高齢者という超高齢社会が到来する事が予想されます。

これら高齢者を支える状況をみると、家庭における介護機能の低下、地域における相互扶助意識の稀薄化が進んでおり、高齢者及びその家族を支える基盤の整備が求められています。また高齢者の保健福祉ニーズも多岐に及んでおり、これに対応できる質の高い、かつ多様な形態のサービス提供が費用負担のあり方を含め課題となってきております。

このような高齢者の増加及び費用負担の増加を考えますと保健福祉も旧来の行政依存型の対応のみでの解決は困難になってくると考えます。

したがって、高齢者も主体性・自主性を大いに発揮し、個人の自助努力による社会的役割を十分に果たしていけるような、創造的かつ積極的な姿勢が求められております。

今までの、老人クラブ活動については、一部では親睦旅行・ゲートボール・唄・踊り等の老人クラブ会員自身の楽しみに偏向がちと一般に見られる活動が目立ったことは否めない実情でありました。

しかしながら、近年において行政サイドの福祉対策に対し、受動的対応でなく確固たる信念のもとに、今日の社会的情勢を踏まえた新たな老人クラブづくりに積極的に取り組むとともに、会員のクラブ活動も年末慰問等のボランティア活動をはじめ、生きがいと健康づくり事業等の広範な活動に積極的に取り組んでいるところであります。

このような、千葉市老人クラブ連合会及び老人クラブの意識の変化が、千葉市老人クラブ連合会を

公益法人化し、社会的信用を得てさらに事業を推進すべく、平成3年5月28日、千葉市老人クラブ連合会定期総会において、平成4年4月財団法人を設立すべく決議したものであります。

その後財団法人化すべく、様々な努力をいたしてまいりましたが諸般の事情により今日に至りました。

本市老人クラブ連合会は、400クラブ 20,000人の会員を擁しており、今後ますます大都市型の市老連として発展することは必至の状況であります。

この高齢者の力を結集し、社会奉仕活動に力をいれていくとともに、各地域の一般住民との連帯や、地域諸団体とも連帯を図り地域福祉に貢献する中核的団体としての役割を果たし、千葉市が推進する高齢者施策にも積極的に協力していく所存であります。

このような展望にたち、千葉市老人クラブ連合会の今後の活動を考えると、現在の任意団体としての事業の展開には制約があり、また社会的役割に対する会員の意識についても、強固であるとは言い難い等の問題があります。

このような事業の運営及び活動の限界を克服し、21世紀を展望した活力ある高齢者団体に飛躍するためには、法人格を早急に取得し、公益的性格を鮮明にすることによって、社会的にも信用され責任のある団体として認められることが必要不可欠であります。

このようなことから、千葉市老人クラブ連合会においては、組織の法人化の願い止み難く、ここに再度、老人クラブ連合会の性格に適合する社団として法人化することを5月25日開催の平成6年度総会において満場一致にて承認されたものであります。

上記の事情をご賢察のうえ、千葉市老人クラブ連合会の法人化について、適切にご指導を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

社団法人 千葉市老人クラブ連合会設立委員会の設置

千葉市老人クラブの法人化は、去る昭和54年末に市老連の長期の念願であった老人会館（仮称）建設の要望が漸く、市議会において採択された時点を契機に事務局の独立と共に第1歩が踏み出されました。

その後、当市の政令指定都市移行に伴い、市老連が県老連より分離、独立するに及び理事会等において論議され、法人化は市老連の当面の重要課題として位置づけされてきました。

そこで、去る、平成5年末、理事会において、市老連法人化設立委員会要綱を作成し、本年3月、同要綱に基き「市老連法人化設立委員会」を設置しました。

本委員会は市老連の拡充強化を目指し長寿社会の形成に資することを目的とし、委員は市老連の会員並びに有識者の中から委員長（市老連会長）が指定した者をもって構成し、役員任期は1年、なお、委員会議は、適宜、委員長が招集し、議決された事項は理事会に報告することに定められています。

全国老人クラブ大会

第23回全国老人クラブ大会は、「創造と連帯の輪をひろげて」をメインテーマに白浜町（和歌山県）に於て盛大に開催されました。過日、全老連会長表彰は、老人クラブ育成功労者として、石原精氏（市老連元会長）並に菅義夫氏（市老連元副会長）が受賞、又優良クラブとして花園第一百寿会（荒木会長）が受賞の栄に浴しました。

なお、下記「大会宣言」を満場一致で決議し、無事閉会しました。

大会宣言

いま、少子・高齢社会となる21世紀を目前にして、「高齢者が尊厳を保ち、自立して生活できる社会の実現」を目標とする新ゴールドプランの策定が、わが国の急務となっている。

全国13万3000クラブ・869万会員の老人クラブは、長寿社会の担い手となるべく「新たな老人クラブづくり」を進めてきたが、今日その成果を期して具体的な取組を促進すべき段階にある。

よって、ここに新時代に向けての役割と全国共通の目標を明らかにした「老人クラブ21世紀プラン」を実践し、社会の活力としての高齢者パワーの発揮を目指すものである。

戦後50年にあたり、ここ和歌山県に相会した全国の代表は、次の事項の実践を誓い宣言する。

- 1、新時代に向けての発展計画「老人クラブ21世紀プラン」の全国推進
- 1、「生活を豊かにする楽しい活動」と「地域を豊かにする社会活動」のバランスのとれた活動展開
- 1、「ねたきりゼロ運動」「在宅福祉を支える友愛活動」の全国展開と100万人友愛活動員の確保
- 1、会員増強運動の積極的推進と連合会の組織・活動の強化
- 1、高年・若手・女性、三者一体の運営体制の実現
- 1、新ゴールドプランの実現による保健福祉制度の充実強化

平成6年9月22日

第23回全国老人クラブ大会

平成6年度地区別研修会の概要

千葉市老人クラブ連合会では、平成6年度の第1回地区別研修会を6月9日から7月2日にかけて実施した。

研修テーマは市老連よりの指示に基づき

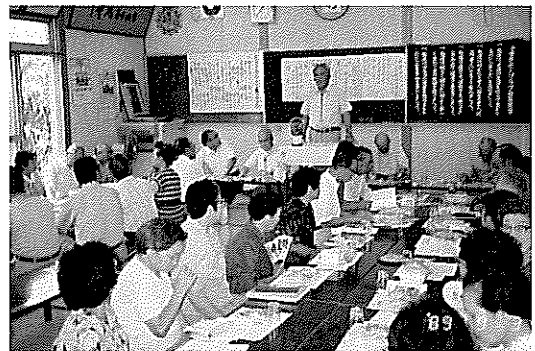
- (1) 健康で楽しく仲間と交わる組織作り
- (2) 高齢化社会を迎える地域の活性化
- (3) 私の日課

と定められ、この中から各地区で1つを選ぶこととなった。ちなみに、1のテーマを選んだ地区10、2のテーマを選んだ地区1、3のテーマを選んだ地区18という数字であった。研修会参加人員1147名(29地区)で、研修会では会員個人が日課の中での活動への真剣な取り組み方や、健康保持等について真摯な発表が行われた。

ここに2、3の発表事例を挙げ皆様のご参考にご供したいと思えます。

1. 穴川地区（稲毛区）……健康で楽しく仲間と交わる組織づくり

発表者は4名で、テーマに基づき発表がなされた。中でも今年現役を辞めて老人クラブに積極的に加入し、内側から会員拡張、クラブの魅力作り、活性化、奉仕活動を通じて近隣や子供達との交流を深めようという姿勢が目立ち、総じて地区連活動は基本的なことを真面目に取り組みされていると感じた。



▲穴川地区連の研修会風景

2. 北地区（稲毛区）……高齢化社会を迎える地域の活性化

私どものクラブは平成5年4月に創設されました。会長のもと67名の会員が活発に多くの活動を始めている。

「高齢化社会を迎える地域の活性化」という視点での発表では社会参加、地域おこしの狙いから「ここ長沼原台を子や孫たちにとって故郷として愛せる街にしていきたい」ということを目標に、バス停の花壇や椅子づくり、公園の清掃等を行ってきたが、昨年からはユニークな試みとして、家庭の廃油で石鹸を作る活動を始めた。できあがった石鹸は1個20円で、住民に販売されるが評判は上々、クラブの活動は住民に期待され、一石二鳥が一石三鳥になりそな気配である。



▲家庭廃油から石鹸づくり

3. 小中台地区（稲毛区）……私の日課

今日の高齢者を世間一般は孤独、頑固、愚痴っぽい、ついには寝たきり、ボケなど否定的な暗いイメージで受け取りがちで事実行政面などに「老人」は社会にとっては負担であり、どう対処すべきかという「対象」として取り扱われる傾向がまみられる。ところが、大多数の「老人」は、ゲートボール、グランドゴルフ、旅行にと又は文化、生涯学習にと参加の機会を自ら求め前向きな自己研鑽に努め、最近福祉を受ける側からボランティア活動にも進出している。従って高齢者としては自らのアイデンティティ（独自性、自己主張）をもって、世の中へ「もの申す」など、行動する存在になることが大切である。これがとりもなおさず高齢者の「社会参加」であり、日常生活では「自己管理」である。福祉は与えられるものでなく高齢者自身自ら創りあげられるのだという気概で生きたいものだと結んでいる。



4. 生浜地区（中央区）……私の日課

▼発表者飯島さんの日課の風景



某婦人会員は老人クラブに入会したきっかけ、それからの経緯について、いかにも女性らしいソフトなタッチでこう述べている。

大勢で賑やかな、楽しい雰囲気大好きなので入会した。母子家庭にあっての日課は、先づ早朝、孫の弁当づくりからはじまり、掃除、洗濯、買物とお定まりの家事

の1日のなか合間をみて向う3軒両隣りの高齢者婦人とカラオケ、踊り、又は三味線と趣味の享受、毎週木曜日「輪投げ」で健康保持に努力での一週間を終わる。

会長からの指示である「独りぐらし老人」への心配りも忘れず、「障害者老人」に対する友愛活動の中で「心と身体の健康の大切」をしみじみ感じる。

短い人生、衰えず、1日の日課は規則正しく「笑いが絶えない楽しい生活をおくりたい」と結んでいる。

以上は研修会における一部の発表に過ぎません。誌上の関係からして全部載せることはできませんのでご了承下さい。

最後に、研修を行ったら、行いばなしでなく、今後は、その効果、実施の目的は遂げられたか等を充分把握し皆様にお伝えする必要を痛感しています。

（市老連教養部長 小関 誠）

市老連上半期実施行事のスナップ



▲1994.5.18 新旧理事歓送迎会
(会場) 玉姫殿



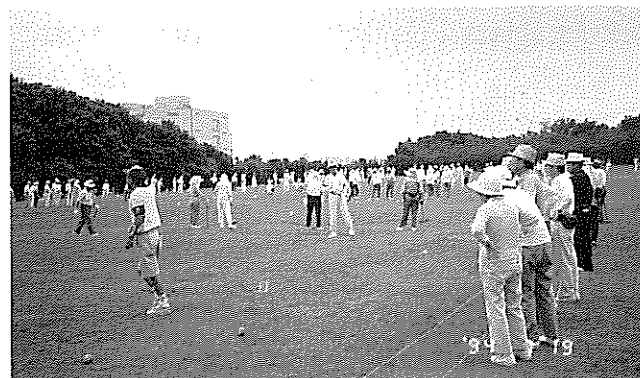
▲1994.6.22～23 平成6年度
関東ブロック老人クラブリーダー研修会
(会場) 東京都池袋ホテルメトロポリタン



▲1944.5.25 平成6年度市老連総会
(会場) 千葉市文化センター



▲1994.7.6～8 市老連婦人活動推進部研修旅行
(視察先) 北方文化博物館ほか
(新潟県) ホテル清風苑
湯沢東映ホテル



▲1994.7.19 市老連G.B大会
(会場) 千葉県ゆうゆう広場



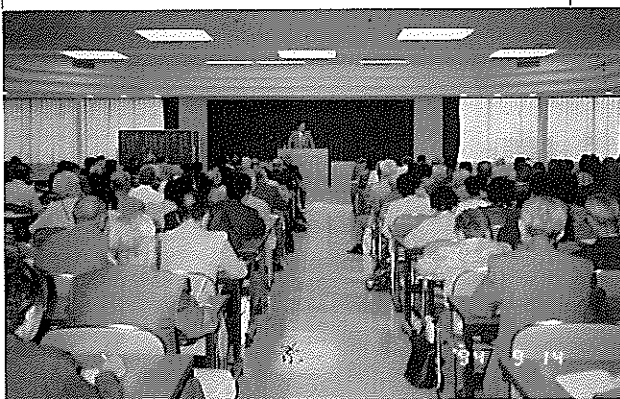
▲1994.8.5～9 平成6年度市老連会員作品展（会場）扇屋ジャスコ

▶1994.8.18
平成6年度
市老連囲碁・将棋大会
（会場）市役所正庁ホール



▲1994.10.15 市老連第22回運動会
（会場）青葉の森運動場

▼1994.9.14 市老連指導者研修会
（講師）兼子全老連総務部長
（会場）市役所正庁



▲1994.9.21 第23回全国老人クラブ大会
（会場）和歌山県白浜町

良寛さまのふる里と

阿賀野川ライン舟下り

平成六年度の婦人会員研修旅行は、7月6日より、2泊3日の日程で、久力婦人部長以下206名、波多野会長、高齢者福祉課杉本課長等の参加で実施されました。

第一日目 6日早朝5台のバスに分乗し、この日好天気に恵まれ、阿賀野川ライン舟下りは会津と越後の山並をぬって流れる川巾120メートル、奇岩怪石など変化に富んだ景観が続き、新日本百景にも選ばれた景勝地、想うに、春から夏にかけての新緑、秋の見事な紅葉、冬の雪景色、四季それぞれの風情、……ちよっぴりスリリングな舟下りは満ち足りた気分にしてくれました。また、案内役の朴とつな説明には好感がもて、特にソーラン節を新潟なまりの歌声で聞かせてくれたことは今でも耳の底に残っています。

ライン下りを終えた私どもは月岡温泉に到着、6時より懇親会に入り、大広間で号車別の余興が始まり歌に踊りに時のたつのも忘れさるような盛会で和気あいあい裡に閉会しました。

第二日目 阿賀野川河畔にある、豪農の館、伊藤邸を見学、全国的にも有数の規模を誇った越後千町歩地主、伊藤家は在りし日のままの豪壮な館、美術品、民芸品、考古資料を多彩に展示されていた。

午後、良寛のふる里（出雲崎）、良寛の美術館、ここには良寛と愛弟子貞心尼の書、詩歌等を展示、また、歴史民族資料館には当時の文化歴史を紹介している。

ついで、越後の名湯、湯沢温泉に到着後研修に入る。

演題「良寛さんと貞心尼の出あいについて」 講師 和島村村長 清野精合氏

良寛は晩年64歳のとき島崎に移った。肉体的にも体力的にも衰える年齢なのに、数十年に亘る歌や、詩には衰えが見えない。島崎移住後まもなく現れた若く、美しい法弟貞心尼が初めて尋ねた時良寛は不在であった。

その時の貞心尼の呼びかけの歌

これぞこの ほとけのみにちにあそびつつ つくやつきせぬ みのりなるらむ
良寛の返歌

つきてみよ ひふみよいむなやここのとを とをとおさめて またはじまるを
法の道、歌の道を語りあうも尽きなかった。

しろたいの 衣手さむし秋の夜の 月なか空に すみわたねかも
月を指された。それに対し貞心尼は

向ひるて千代も八千代も見てしかな 空ゆく月の ことはとはずすとも
詠み交わした相聞歌四十数首といわれている。良寛天保2年74才で死す。

第三日目 上州高崎、山徳園、洞窟観音の見学。高崎駅西方約三、二キロ烏川を隔てた観音山丘陵の金沢山に所在し、多くの人と共に楽しめる霊場、楽天地を建設しようと決意した、故山田徳蔵翁によって、大正7年に計画、昭和2年に着工、昭和39年翁が80才の生涯を閉じるまでの半生記をかけて完成したものである。

当時、動力や土木機械のない時代でツルハシ、スコップなど、すべて人の力で山を抜き谷を埋め池を掘り石を運んだと言いつたえられている。

洞窟内には石彫りの名工、楽山が生涯をかけて彫刻した御影石の観音像三十九体が他の石彫群と共に安置されている。

三日間、すべての見学、日程を終え一路千葉へ向かう、事故もなく、みんな元気で楽しい旅行でした。

(はまの台栄寿会 三浦ヨシエ)

平成6年度市老連役員表

会 長 波多野 透
 副会長 柴崎 玉吉
 ♪ 久力 すい
 ♪ 新生 清蔵

平成6年度専門部

◎常任理事・部長 ○副部長

総務部	教養部	広報部
◎中島久二(中1)	◎小関 誠(緑1)	◎三矢金吾(花1)
○由良政二(中9)	○河西一雄(中3)	○百崎 一(稲3)
小川明良(中2)	山田 昇(中8)	行木 勇(稲5)
松本信一(稲1)	荒木七三造(花3)	三浦ヨシエ(中9)
高梨 悌(緑2)	布施 章(若4)	
狩野喜美(稲2)	坂口英美子(花2)	
社会奉仕部	文化部	保健部
◎中川正雄(稲2)	◎三浦一郎(美1)	◎菊池 力(若1)
○井上保之助(若2)	○来生 三(若1)	○西村浩一(中7)
鈴木仁朗(花4)	長岡文一(中5)	熊谷 實(中4)
田上広市(美2)	安野武男(中6)	長谷川文吉(花2)
高山きく(緑3)	石井義雄(花5)	平野俊夫(若5)
	矢尾板正男(稲4)	川崎末吉(緑3)
婦人活動推進部	保坂三男(若3)	田上安子(美2)
◎久力 すい(花5)		
○三浦ヨシエ(中9)		
○坂口英美子(花2)		

※副会長担当専門部

柴崎 玉吉〈総務部・保健部・文化部〉

新生 清蔵〈教養部・広報部・社会奉仕部〉

久力 すい〈婦人活動推進部〉

お知らせ!**第12回全国都市緑化ちばフェアについて**

平成7年8月25日から59日間にわたって開催されますちばフェアは、全国を巡って毎年開催される「全国都市緑化フェア」の第12回大会です。

幕張海浜公園と稲毛海浜公園の2会場を使いそれぞれのテーマによって展開するもりだくさんの楽しさに満ちたイベントで開催概要は次の通りです。

なるべく多数のご参加をお願いします。

名 称	第12回全国都市緑化ちばフェア
愛 称	グリーンシンフォニーCHIBA '95
会 期	平成7年8月25日(金) から平成7年10月22日(日) 《59日間》
開 閉 時 間	午前9時30分～午後5時30分
会 場	幕張海浜公園・稲毛海浜公園
開催テーマ	「なつかしい みどりを 未来に」
提 唱	建設省
主 催	千葉県・千葉市・(財)都市緑化基金
入 場 料 金	前売券《平成6年8月29日(月)～平成7年8月24日(木)》 当日券《平成7年8月25日(金)～平成7年10月22日(日)》

	区 分	金 額
前 売 券	大 人	1,000円
	高 校 生	800円
	小中学生	600円
	高 齢 者	

	区 分	金 額
当 日 券	大 人	1,000円
	高 校 生	1,000円
	小中学生	700円
	高 齢 者	

編集後記

「ちば市老連だより」ようやく第2号が発刊の運びとなりました。慣れない編集部員ばかりで、できばえが、皆様のご期待にそえるか危惧いたしております。

1号より2号へ、2号より3号へと研さんを重ね、斬新な「ちば市老連だより」を目指して、励んでおります。

本号の行事の写真、研修会概要、婦人部の研修旅行記はどれも行事に参加された会員によるもので厚くお礼申し上げます。また、会員皆様のご投稿を心よりお待ちしております。

投稿先 千葉市中央区千葉港1-1 (千葉市役所高齢者福祉課気付)

編集・発行

千葉市老人クラブ連合会 代表者 波多野 透
千葉市中央区千葉港1-1 (千葉市役所 高齢者福祉課内)
TEL 043 (245) 5169

第2号

リーダー必携!クラブに一冊!

“老人クラブ活動の羅針盤”

月刊『全老連』

月刊『全老連』は、老人クラブの全国的な取り組みや各地の活動事例、高齢者を取り巻く社会の動きなど、さまざまな情報を読みやすい誌面でお届けする全老連発行の機関誌です。クラブのさらなる活性化・発展に向けて、ぜひご購読いただき、今後のクラブ活動にお役立てください。

【お申し込み方法】

郵便局の「払込用紙」にて、通信欄に購読期間・部数を明記の上、下記の口座にお振り込み下さい。

口座番号:00100-0-116577

加入者名:(財)全国老人クラブ連合会 機関誌係



毎月1回10日発行 85版・2色・24頁
年間購読料一年12回分(送料・消費税込み)

購読部数	1部当たり
1~30部	2,700円
31~50部	2,600円
51~100部	2,500円
101部~	2,400円

【お問い合わせ先】

財団法人 全国老人クラブ連合会 機関誌係

TEL03-3581-5658

〒100 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階

千葉市老人クラブ連合会会歌

作詞 沢田 繁二
作曲 寺内 昭

一、朝日を浴びて 起ち上がり

星を仰いで 越えて来た

旅路色どる 桜花

名残りの春を 真実に

精一杯に 咲き匂う

ああ 千市老連 永遠のいのち

この 安らぎの 園に咲く

老人クラブ われらが命

二、手に手を取って 輪になれば

心と心 結び合い

ひとりひとりに 夢が湧く

生き甲斐深め 生涯の

知恵の泉を 汲みかわす

ああ 千市老連 永遠のひかり

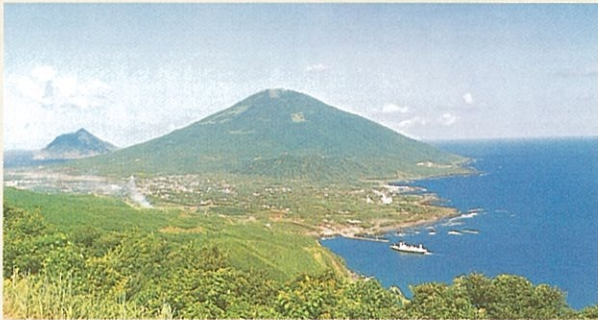
夕焼け 富士の そのように

老人クラブ われらが光

—南国の別天地—

1泊2日
空の旅

八丈島へ



アロエとアシタバ祭り開催中!!

実施期間 平成7年1月26日~27日
1月30日~31日

旅行費用 **39,800円**

お問合せ
お申し込みは **(株)明友旅行**

☎ 043-241-5021

超特急45分 カラープリント

(通常仕上げ3時間)

- 証明写真 ●七五三記念写真 ●成人記念写真
- お宮参り ●家族写真 ●お見合い写真 ●学校卒業アルバム製作 ●記念行事の記録写真及びアルバム印刷

営業時間/
AM10:00~PM7:00
定休日/毎週木曜日



モノレール
「桜木駅」際

写真屋 本郷

〒264 千葉市若葉区桜木町332-2 TEL 043(231)9394

新春 皇居参観と

江戸東京博物館



昭和天皇カレンダー贈呈

旅行代金 **6,500円**

実施期間 平成7年1月~2月

お問い合わせ

運輸省登録一般旅行業138号

(株) **東京旅行** 千葉支店

TEL 043-225-6621

マリアチャペル 千葉ポートタワー前

ちば玉姫殿 ☎043
247-5511

- 病院から ●ご自宅葬 ●ホール葬 ●社葬

立派なご葬儀

敬愛の心

ホール会場ご使用料無料

せしモニー

穴川ホール ☎ 252-4444

作草部ホール ☎ 255-4444